子宮頸がんワクチン接種について



【 子宮頸がんの疫学 】

日本では、年間約 10,000 人の女性が子宮頸がんに罹患し、約 2,900 人が子宮頸がんによって死亡しています。日本における 20～30 歳代の世代における女性特有のがんについてみてみると、乳がんや卵巣がん、子宮体がんと比較して、子宮頸がんの罹患率は増加傾向にあります。

【 ヒトパピローマウイルスとは？ 】

子宮頸がんの原因のひとつに HPV 感染があげられます。HPV はありふれたウイルスで、海外の報告では、異性との性経験のある女性の 84.6%が一生に一度は HPV に感染すると推計されています [1)]。

HPV には 200 種類以上の型があり、発がん性のある高リスク型と、良性腫瘍を引き起こす低リスク型があります。

子宮頸がんの約 65%は HPV16 型と 18 型が原因です。

1) Chesson HW et al. Sex Transm Dis. 2014; 41: 660-664.

【 子宮頸がんワクチンについて 】

現在、クリニックでは「ガーダシル®」と「シルガード®9」の 2 種類の子宮頸がんワクチンの接種を行っています。HPV ワクチンは任意接種のワクチンであり、接種時期は性交渉の始まる以前が望ましいとされていますが、その後であっても効果は期待できます。

【 ガーダシル®とシルガード®9 の比較 】

	ガーダシル®	シルガード®9
医薬品名	組換え沈降４価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）	組換え沈降 9 価ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチン（酵母由来）
予防する HPV の数	4 種類	9 種類
予防する HPV の型	高リスク型 （発がん性あり） 16・18 低リスク型 6・11	高リスク型 （発がん性あり） 16・18・31・33・45・52・58 低リスク型 6・11
副反応	疼痛（83.5%）、腫脹（28.8%）、紅斑（25.6%）etc.	疼痛（89.9%）、腫脹（40.0%）、紅斑（34.0%）etc.

参考：MSD Connect Web サイト https://www.msdconnect.jp/products/gardasil-silgard9/

【 接種スケジュールについて 】

ガーダシル®、シルガード®9 は、通常腕の筋肉内に注射します。十分な予防効果が得られるよう、必ず決められた回数、スケジュールで接種しましょう。

月	0	1	2	3	4	5	6
回数	１回目		２回目				３回目
接種時期	初回接種	初回接種から１ヶ月以上空ける				２回目接種から３ヶ月以上空ける	

【 ワクチンに関する Q&A 】

Q1. ワクチンを接種したら子宮がん検診は受けなくてもよいのですか？

A1. たとえワクチンを接種しても、子宮頸がんや尖圭コンジローマを 100%予防できるわけではありません。20 歳を過ぎたら、検診は受けるようにしましょう。

Q2. 男性は受けなくてもよいのですか？

A2. HPV は性交渉で感染拡大するウイルスです。子宮頸がんだけでなく、男性のび咽頭がんや肛門部のがんなどの原因となる可能性があります。そのため、男性にもワクチン接種が推奨されます。